

2022年8月25日

各位

株式会社 宮崎銀行

みやぎんグリーン私募債「地球の未来」の引き受けについて

株式会社宮崎銀行(頭取 杉田 浩二)は、2022年8月25日にみやぎんグリーン私募債「地球の未来」の引き受けを行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

「地球の未来」は、脱炭素社会実現に取り組む発行企業さまを応援するとともに、引受手数料の一部を優遇し、その優遇分を原資に発行企業さま名義にて指定する「CO₂の削減や環境問題に取り組む団体」へ金銭寄付を行うことで、地球のカーボンニュートラルの実現を後押しする商品です。

引き続き当行は、お客さまのさまざまなニーズにお応えし、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

有限会社前田産業 第3回無担保社債	
私募債 発行企業の 概要	発行企業名： 有限会社前田産業 代表取締役 前田 隆雄 本社所在地： 宮崎県日向市東郷町山陰乙1028番地1 設立： 1995年9月11日 事業内容： 林業・運送業・バイオマス発電用木質チップ製造業 従業員数： 52名(2022年7月末)
受託内容	発行日： 2022年8月25日(木) 発行額： 50百万円 期間： 5年(期日一括償還) 資金使途： 運転資金 財務代理人： 株式会社宮崎銀行
発行企業の 取組内容	【実践している脱炭素社会実現に資する取り組み】 1. 地元の材料や資材の積極的な使用 県北(特に日向・入郷地区)の民有林を中心に素材生産を行っており、地元の山林資源の有効活用を目指す。また、宮崎県が選定する「ひなたのチカラ」の認定事業体であることから、伐ったら植える、育てるという保育事業にも着手し、宮崎県が目指す持続可能な循環型林業に寄与。 2. バイオマス事業 木質バイオマス発電は、燃やしてもCO ₂ の増減に影響を与えないカーボンニュートラルの実現を後押しする発電方法(※1)であるが、その燃料となる山林未利用材を原料とした木質チップの製造を行う。 ※1: 植物は燃やすとCO ₂ を排出するが、成長過程では光合成により大気中のCO ₂ を吸収するので、排出と吸収によるCO ₂ のプラス・マイナスはゼロになる。このようにバイオマス発電で木を燃やしても、地球全体で考えればCO ₂ の総量は変化しないという考え。 3. 環境団体等への寄与や支援の実施 2020年2月に当行の「みやぎんCSR型私募債(With)」を活用し、美郷町西郷の県林業技術センター(みやぎき林業大学校)へチェーンソーとグローブの寄付済み。林業、木材産業を支える担い手の確保、育成にも注力。
寄付予定先	発行企業のご希望により、脱炭素社会実現に取り組む「諸塚村林業研究グループ会議」への金銭寄付を予定しております。

<【参考】「地球の未来」商品概要>

名 称	みやぎんグリーン私募債「地球の未来」
対象企業 (適債基準)	1. 銀行保証付私募債の適債要件を満たす企業 2. 脱炭素社会実現に資する取り組みを「実践している」または「実践しようとしている」企業
寄付額	みやぎんグリーン私募債「地球の未来」発行額の0.2%
寄付の仕組み	1. 私募債発行に際し、当行所定の引受手数料から発行額×0.2%を優遇いたします。 2. 私募債発行企業は、その優遇分を活用し、下記「CO ₂ の削減や環境問題に取り組む団体」の中から希望する団体を選択し、金銭寄付を行います。 ①公益社団法人宮崎県緑化推進機構(緑の募金) ②公益財団法人かごしまみどりの基金(緑の募金) ③その他発行企業が希望する脱炭素社会実現に取り組む団体
発行総枠	10億円
発行期限	2023年7月25日(火)発行分まで(1年間) ※発行総枠(10億円)に到達次第、取り扱いを終了させていただきます。
取扱開始日	2022年7月15日(金)

- (1) 私募債とは、一定の財務水準を満たした企業が、直接金融による資金調達を目的に発行する社債です。
- (2) 発行企業にとっての主なメリットは、①長期固定金利による安定した資金調達が可能であること、②財務・収益状況における発行条件(適債基準)をクリアしたことにより信用力の向上が図れること等があげられます。

以 上

対応するSDGs



本件に関するお問い合わせ先
株式会社宮崎銀行 ビジネスソリューション部
担当: 岩見・長友
TEL: 0985-32-8329